

創徳中学校通信



全国学力・学習状況調査の結果及び分析について

	R6年度 全国との差	R6年度 県との差	R6年度 市との差	昨年度 全国との差 昨年度との差
国語 (全15問)	-1.1	0	1.0	-4.8 3.7
数学 (全16問)	-1.5	-2	0	-3.0 1.5

4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、本校生徒の「強み」「弱み」を明らかにし、今後の指導につなげていきたいと思ひます。

数値は平均正答率(%)です

【国語の強み】

- 短歌の表現技法について理解している。+8.3P
 - ・体言止めの理解ができている。
 - ・擬人法、直喩、倒置法との区別がつく。
- 資料を用いてわかりやすく伝わるように話すことができる。+4.5P
 - ・文章中の「このあたり」とはどの部分を指しているか理解できている。
- 短歌の内容について描写を基にとらえることができる。+6.9P
 - ・短歌に詠まれている時間帯を理解し、並べ替えられる。
- 無回答が少ない。答えようとする姿勢はある。



【国語の弱み】

- 漢字の読み。-8.5P
 - ・「満ち足りた」の漢字が書けなかった。小学4年の既習漢字で、一番の弱み。
- 目的に応じて必要な情報(複数の指示)に着目して要約ができない。-6.4P
 - ・「どのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があるか」を述べる問題で、特徴しか述べていない。
- 文章と図を結び付けて内容を解釈することができなかった。-5.8P
 - ・図「さまざまな形の葉」が文章中の「楕円形の」「先のとがった」「丸い」などの具体例になっていることに気づけない。
 - ・選択肢の言葉を具体的にイメージして、問いにあてはまるかどうかを判断できない。
- 話合いの話題や展開を捉えながら他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができなかった。-5.6P
 - ・「山岡さんの最後の発言を受けて」考えを述べる問題で、条件1のみに気を取られ、自分の考えを述べるだけで終わってしまった。
 - ・条件2「誰の発言と結び付くのか」を明確に書き表せない。
 - ・問題の意味がわからない。

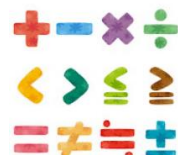


【課題解決に向けた具体的な取組】

- ☆新出漢字を書く練習だけでなく、日常で使うような言葉の読み方練習も進めていく。
- ☆複数の必要な情報を要約する力をつけるために、具体的な場面を設定したり、学調の問題のように必要な情報に着目して要約する必要のある課題を設定したりする。

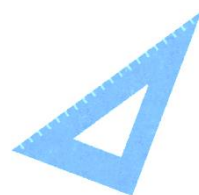
【数学の強み】

- 7(2)(3)のデータの活用の問題の説明する問題で全国より10%高い。
- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができている。
- ・複数の集団のデータの分布から四分位範囲を比較することができている。
- 無回答率が低い（2,8(2)の問題以外すべて全国より下回っている）
- ・書くことへの抵抗が低い。



【数学の弱み】

- 計算する問題（数と式の領域）が全国、三重県より下回っている。
（特に式変形の問題が全国より12%下回っている）
- ・等式を目的に応じて変形することができていない。
- 図形から読み取ることが苦手
- ・事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことができていない。



【課題解決に向けた具体的な取り組み】

- ☆定期考査の証明問題で部分点を採用したことによって、無回答率の低下につながったと考えられるので今後も続けてきたい。
- ☆証明の単元での習熟度別学習が有効だったと考えられるので、続けていきたい。
- ☆ドリルパークの活用、音声計算、計算の小テストの実施、宿題プリント、四則演算の復習等を行い、計算力を上げる。
- ☆日常生活の中で必要な事象と絡めながら、活用できる知識・技能を習得させていく。

落とし物をたくさん預かっています

職員室前のスチール棚に落とし物（忘れ物）を預かっています。小さいものはキーホルダー、大きいものは水筒。そして「これ取りに来なくて大丈夫？」と思わず叫んでしまうカギ、メガネまで。取りに来る気配がなく、たまっていく一方なので12月末には処分したいと思います。心当たりのある人は職員室まで来てください。

